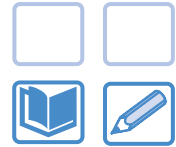


7-5

どこで・どこを・どこから



活動

あた 与えられたことばを使っ
 ぶん つく て、
 文を作る。

かたち



時間

せつめい編

- (助-11 で (場所))
- (助-12 から / まで)
- (助-17 で (手段 / 材料))
- 助-19 を (起点)
- 助-20 を (経路)
- 助-21 に (帰着点)

使うことば

えき てい はし みち じてんしゃ
 駅、バス停*、橋、道、バス、自転車、
 でんしゃ くるま の お
 電車、車、タクシー、乗る、降りる、
 わたる
 ある
 歩いて

談話の技術

準備するもの

手 順

1. 教師は①(場所) ②(乗り物) ③(動
 詞)の3種類のことばのリストを黒板に
 書く。
2. 学習者は、①②③からことばを選んで、
 必要な助詞を考えて、<モデルテキスト>
 のような文を作る。
3. 作った文を発表し、確認する。

- ① うち、学校、公園、駅、バス停、橋、道
 - ② バス、自転車、電車、車、タクシー、
 歩いて
 - ③ 乗ります、降ります、行きます、
 帰ります、わたります

モデルテキスト

- ・ 駅えきで 電車でんしゃに のります。
- ・ バスていで バスを おります。
- ・ 駅えきから 公園こうえんまで あるいて 行いきます。
- ・ うちまで 電車でんしゃで かいります。
- ・ はしを わたります。

バリエーション

(1) 3人にんずつのグループで、ぶんぶんをつくつく。1番ばん目の人ひとは、「① + 助詞じょし」を言うい。2番目ばんめの人ひとは「② + 助詞じょし」を言うい。「歩いてある」の場合ばあいは助詞じょしがいらない。3番目ばんめの人ひとは、③の動詞どうしをえらえらんでぶんぶんをかんせいかんせいさせる。

(2) 以下いのように教師きょうしが文型ぶんけいを提示ていじするとやさしくなり、基本きほん的な練習れんしゅうになる。
 文型 A (場所ばしょ)で (乗り物のもの)にの乗る / を降おりる
 文型 B (場所ばしょ)へ (乗り物のもの)でい行く / 帰かえる
 文型 C (場所ばしょ)を (乗り物のもの)でわたる
 文型 D (場所ばしょ)から (場所ばしょ)まで (乗り物のもの)でい行く / 帰かえる

先生へ

- ・ この活動かつどうの前まえに名詞めいしと助詞じょしの組み合わせくあの練習れんしゅうがひつようひつよう。たとえば、以下いのような文ぶんで助詞じょしのあなうめあなうめをするなど。助詞じょしの必要ひつようのないところいは「x」を入れる。
 文型 A : 駅えきで 電車でんしゃに の 乗のります。
 駅えきで 電車でんしゃを お 降おります。
 バス停ていで バスのに 乗のります。
 バス停ていで バスを お 降おります。
 文型 B : { 学校がっこう / 駅えき / 公園こうえん } へ { バスじてんしゃ / 自転車でんしゃ / 電車くるま / 車 / タクシー } で / 歩いて x 行いきます。
 うちへ { バスじてんしゃ / 自転車でんしゃ / 電車くるま / 車 / タクシー } で / 歩いて x 帰かえります。
 文型 C : 道みちを 歩いて x わたります。
 橋はしを { バスじてんしゃ / 自転車でんしゃ / 電車くるま / 車 / タクシー } で / 歩いて x わたります。
 文型 D : { うち / 学校がっこう / 公園こうえん / 駅えき / バス停てい } から { 学校がっこう / 公園こうえん / 駅えき / バス停てい } まで { バスじてんしゃ / 自転車でんしゃ / 電車くるま / 車 / タクシー } で / 歩いて x 行いきます。
 { 学校がっこう / 公園こうえん / 駅えき / バス停てい } から うちまで { バスじてんしゃ / 自転車でんしゃ / 電車くるま / 車 / タクシー } で / 歩いて x 帰かえります。